

令和五年

【問 1】 以下の各問いに答えよ。

- (1) 区間 $[0, a]$ ($a > 0$) 上の一様分布に従う確率変数の微分エントロピーを求めよ。
- (2) 区間 $[0, a]$ ($a > 0$) 上で定義された確率密度関数 $p(x) = 2x/a^2$ に従う確率変数の微分エントロピーを求めよ。

解答

(1)

$$h(X) = - \int_0^a \frac{1}{a} \log \frac{1}{a} dx = \log a \quad (1)$$

(2)

$$h(X) = - \int_0^a \frac{2x}{a^2} \log \frac{2x}{a^2} dx = \log a + \frac{1}{2 \ln 2} - 1 \quad (2)$$

【問 2】 時刻 t の入力 $X_t \in \{0, 1\}$ ($t = 1, 2, \dots$) に対し、入力と独立な誤り源 S_E から発生した記号 $Z_t \in \{0, 1\}$ が加わった値 $Y_t = X_t \oplus Z_t$ が出力される加法的 2 元通信路 W を考える。ただし、 \oplus は排他的論理和を表し、 $0 \oplus 1 = 1$, $1 \oplus 1 = 0$ である。誤り源 S_E が、 $P(Z_{t+1} = 1 | Z_t = 0) = 0.25$, $P(Z_{t+1} = 1 | Z_t = 1) = 0.5$ となる定常な単純マルコフ情報源である場合について、以下の問いに答えよ。

- (1) 誤り源 S_E の定常確率分布を求めよ。
- (2) 誤り源 S_E のエントロピーレート $H(S_E)$ を求めよ。
- (3) $X^n = (X_1, \dots, X_n)$ が $P(X_t = 1) = 1/2$ ($t = 1, 2, \dots, n$) である離散無記憶情報源からの出力であり、 $Z^n = (Z_1, \dots, Z_n)$ が定数 $z^n \in \{0, 1\}^n$ に固定されていると仮定する。 $Y^n = (Y_1, \dots, Y_n)$ が $P(Y_t = 1) = 1/2$ ($t = 1, 2, \dots, n$) である離散無記憶情報源の出力であることを示せ。
- (4) 通信路 W の通信路容量は以下の式で定義される。

$$C = \lim_{n \rightarrow \infty} \max_{P_{X^n} \in \mathcal{P}_n} \frac{1}{n} I(X^n; Y^n)$$

ただし、 $I(X^n; Y^n)$ は X^n と Y^n の間の相互情報量を、 P_{X^n} は入力 X^n の確率分布を、 \mathcal{P}_n は $\{0, 1\}^n$ 上の確率分布全てからなる集合を表す。このとき、 $C = 1 - H(S_E)$ となることを示せ。

解答

(1)

$$\Pi = \begin{bmatrix} 0.75 & 0.25 \\ 0.5 & 0.5 \end{bmatrix}$$

定常確率分布を $w = (w_0, w_1)$ とすると

$$\begin{cases} w_0 + w_1 = 1 \\ w\Pi = w \end{cases} \Rightarrow w = \left(\frac{2}{3}, \frac{1}{3} \right)$$

(2)

$$\begin{aligned} H(S_E) &= w_0 \mathcal{H}(0.75) + w_1 \mathcal{H}(0.5) \\ &= \frac{2}{3} \left[-\frac{3}{4} \log_2 \left(\frac{3}{4} \right) - \frac{1}{4} \log_2 \left(\frac{1}{4} \right) \right] + \frac{1}{3} \\ &= \frac{5}{3} - \frac{1}{2} \log_2 3 \end{aligned} \tag{4}$$

(3)

$$Z_t = 0 \text{ のとき, } Y_t = X_t \oplus Z_t = X_t \oplus 0 = X_t$$

$$P(Y_t = 1) = P(X_t = 1) = \frac{1}{2}$$

$$Z_t = 1 \text{ のとき, } Y_t = X_t \oplus Z_t = X_t \oplus 1$$

$$P(Y_t = 1) = P(X_t = 0) = 1 - P(X_t = 1) = \frac{1}{2}$$

(4)

$$\begin{aligned} I(X; Y) &= H(Y) - H(Y | X) \\ &= H(Y) - H(X \oplus S_E | X) \\ &= H(Y) - H(S_E | X) \\ &= H(Y) - H(S_E) \end{aligned} \tag{6}$$

$$C = \lim_{n \rightarrow \infty} \max_{P_{X^n} \in \mathcal{P}_n} \frac{1}{n} I(X^n; Y^n) = \mathcal{H} \left(\frac{1}{2} \right) - H(S_E) = 1 - H(S_E)$$

令和四年

【問1】 k を正の整数とする. 入力アルファベットが $\mathcal{X} = \{0, 1\}^k$, 出力アルファベットが $\mathcal{Y} = \{0, 1\}^k$ の無記憶な通信路 $W(Y|X)$ を

$$W(Y|X) = \begin{cases} 0 & (d(X, Y) = 0) \\ \frac{1}{k} & (d(X, Y) = 1) \\ 0 & (d(X, Y) \geq 2) \end{cases}$$

で定める. ただし, $d(X, Y)$ は, $X = (X_1, X_2, \dots, X_k)$ と $Y = (Y_1, Y_2, \dots, Y_k)$ の間のハミング距離

$$d(X, Y) = \sum_{i=1}^k |X_i - Y_i|$$

を表す. この通信路の通信路容量を求めよ.

解答

$$C = \log_2 s + \sum_{j=1}^s p_{1j} \log_2 p_{1j} = k + k \cdot \frac{1}{k} \log \frac{1}{k} = k - \log_2 k \tag{7}$$

【問2】 アルファベットが $\{1, 2, 3, 4\}$ である単純マルコフ情報源の遷移確率行列が

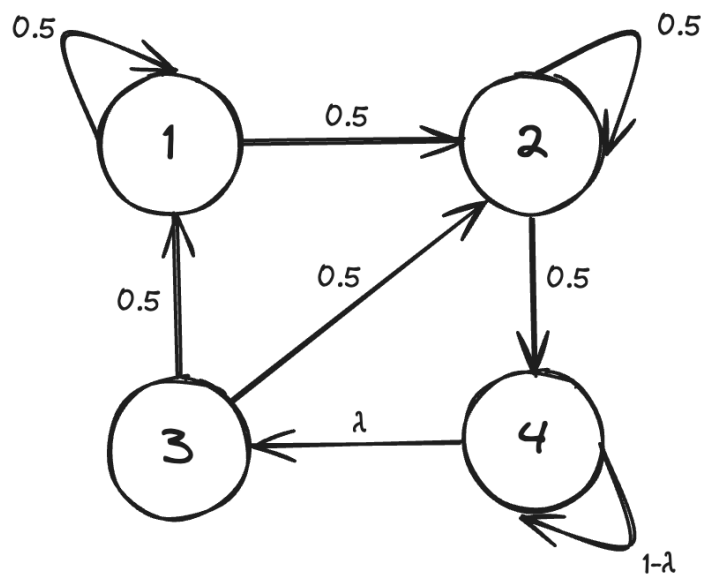
$$\begin{pmatrix} 0.5 & 0.5 & 0 & 0 \\ 0 & 0.5 & 0 & 0.5 \\ 0.5 & 0.5 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & \gamma & 1-\gamma \end{pmatrix}$$

で与えられたとする。ここで、 (i, j) 成分は遷移確率 $P(j|i)$ を表し、 $0 < \gamma < 1$ とする。以下の問いに答えよ。

- (1) このマルコフ情報源の状態遷移図を図示せよ。
- (2) このマルコフ情報源の定常確率分布が $(1/8, 1/4, 1/8, 1/2)$ であるとき、 γ の値を求めよ。
- (3) γ が前問で求めた値をとるとき、このマルコフ情報源のエントロピーレートを求めよ。
- (4) このマルコフ情報源に従う確率変数の列 X_1, X_2, \dots を考える。 X_1 が上記の定常確率分布 $(1/8, 1/4, 1/8, 1/2)$ に従う場合、 (X_1, X_2) に対するハフマン符号化を行い、その符号の木を図示せよ。ただし、符号語のアルファベットは $\{0, 1\}$ とする。

解答

(1)



(2)

$$w = \left(\frac{1}{8}, \frac{1}{4}, \frac{1}{8}, \frac{1}{2} \right)$$

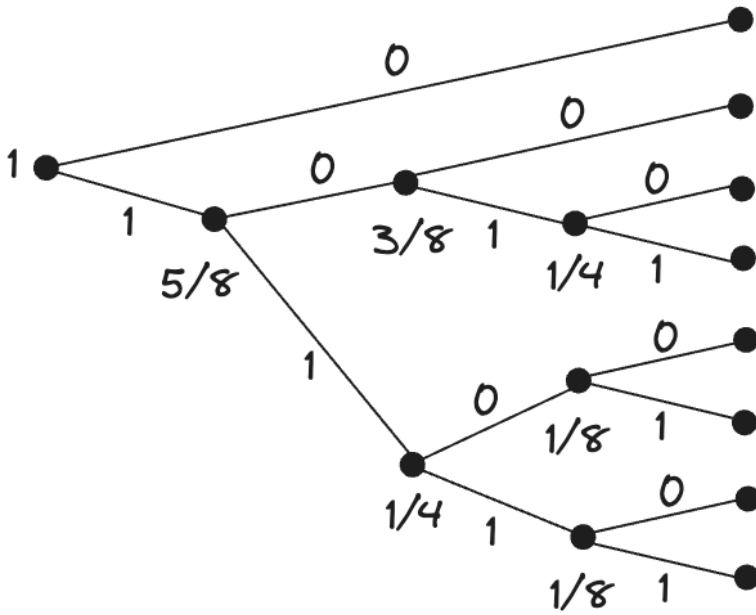
$$\Pi = \begin{bmatrix} 0.5 & 0.5 & 0 & 0 \\ 0 & 0.5 & 0 & 0.5 \\ 0.5 & 0.5 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & \gamma & 1-\gamma \end{bmatrix} \tag{8}$$

$$w\Pi = w \Rightarrow \lambda = 0.25$$

(3)

$$\begin{aligned}
H(S_1) &= \mathcal{H}(0.5) = 1 \\
H(S_2) &= \mathcal{H}(0.5) = 1 \\
H(S_3) &= \mathcal{H}(0.5) = 1 \\
H(S_4) &= \mathcal{H}(0.25) = 2 - \frac{3}{4}\log_2 3 \\
H(S) &= \frac{1}{8}H(S_1) + \frac{1}{4}H(S_2) + \frac{1}{8}H(S_3) + \frac{1}{2}H(S_4) = \frac{3}{2} - \frac{3}{8}\log_2 3
\end{aligned}
\tag{9}$$

(4)



情報源記号	確率	符号語
44	$\frac{3}{8}$	0
22	$\frac{1}{8}$	100
24	$\frac{1}{8}$	1010
43	$\frac{1}{8}$	1011
11	$\frac{1}{16}$	1100
12	$\frac{1}{16}$	1101
31	$\frac{1}{16}$	1110
32	$\frac{1}{16}$	1111

令和三年

【問1】 入力アルファベットと出力アルファベットがともに $\{1, 2, 3, 4\}$ である無記憶な通信路 $W(y|x)$ の通信路行列が

$$\begin{pmatrix}
0.5 & 0.5 & 0 & 0 \\
0 & 0.5 & 0.5 & 0 \\
0 & 0 & 0.5 & 0.5 \\
0.5 & 0 & 0 & 0.5
\end{pmatrix}$$

で与えられているとする。ただし、 (i, j) 成分は $W(j|i)$ を表す。この通信路の通信路容量を求めよ。また、それを達成する入力分布を全て求めよ。

解答

$$\begin{aligned}
C &= \log_2 s + \sum_{j=1}^s p_{1j} \log_2 p_{1j} = 2 - \mathcal{H}(0.5) = 1 \\
\text{入力分布は } p_1 &= p_2 = p_3 = p_4 = \frac{1}{4}
\end{aligned}
\tag{10}$$

【問 2】 定常無記憶情報源 $X_1X_2\cdots$ を考える. この情報源のアルファベットを有限集合 \mathcal{X} とし, 各 X_i は確率分布 $p(x)$ に従うものとする. 任意に固定された $\epsilon > 0$ に対し, 系列 $(x_1, x_2, \dots, x_n) \in \mathcal{X}^n$ が

$$2^{-n(H(X_1)+\epsilon)} \leq p(x_1, x_2, \dots, x_n) \leq 2^{-n(H(X_1)-\epsilon)}$$

を満たすとき, この系列を $p(x)$ に関する典型系列であると言う. ここで, $H(X_1)$ は X_1 のエントロピーを表し, $p(x_1, x_2, \dots, x_n)$ は同時確率分布を表す. 全ての典型系列からなる集合を $A_\epsilon^{(n)}$ と表記する. 次の各問いに答えよ. ただし, $\mathcal{X} = \{0, 1\}$, $p(0) = 1 - \alpha$, $p(1) = \alpha$ とする. ここで $\alpha \in (0, 1)$ は定数である.

- (1) $(x_1, x_2, \dots, x_{10}) = (0, 1, 1, 0, 0, 0, 0, 1, 0, 0)$ に対し, $p(x_1, x_2, \dots, x_{10})$ を求めよ.
- (2) $i = 1, 2, \dots, n$ に対する $H(X_i)$ および $H(X_1, X_2, \dots, X_n)$ を求めよ.
- (3) $\mathbf{x} = (x_1, x_2, \dots, x_n)$ に対し, $S(\mathbf{x}) = \sum_{i=1}^n x_i$ とおく. $\alpha = 0.2$, $n = 200$, $\epsilon = 0.01$ とする. $A_\epsilon^{(n)}$ に属する系列 \mathbf{x} に対する $S(\mathbf{x})$ の範囲を求めよ.

解答

(1)

$$p(x_1, x_2, \dots, x_{10}) = p(1)^3 p(0)^7 = \alpha^3 (1 - \alpha)^7 \quad (11)$$

(2)

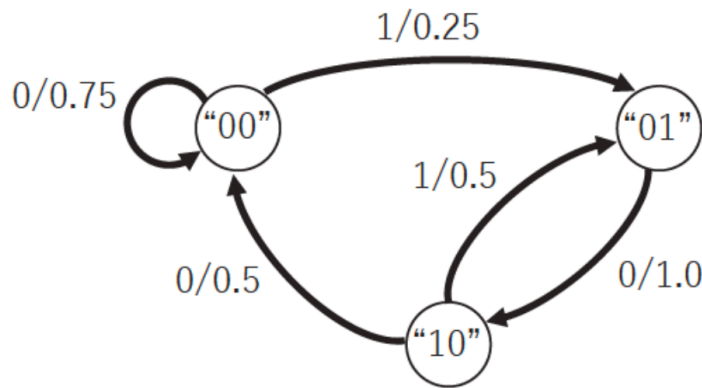
$$\begin{aligned} H(X_i) &= -[(1 - \alpha) \log_2(1 - \alpha) + \alpha \log_2 \alpha] = \mathcal{H}(\alpha) \\ H(X_1, X_2, \dots, X_n) &= H(X_1) + H(X_2) + \cdots + H(X_n) = nH(X_i) = n\mathcal{H}(\alpha) \end{aligned} \quad (12)$$

(3)

$$\begin{aligned} 2^{-n(H(X_1)+\epsilon)} &\leq p(x_1, x_2, \dots, x_n) \leq 2^{-n(H(X_1)-\epsilon)} \\ -nH(X_1) - n\epsilon &\leq \log_2[p(x_1, x_2, \dots, x_n)] \leq -nH(X_1) + n\epsilon \\ n[(1 - \alpha) \log_2(1 - \alpha) + \alpha \log_2 \alpha] - n\epsilon &\leq \log_2[\alpha^{S(\mathbf{x})} (1 - \alpha)^{n-S(\mathbf{x})}] \leq n[(1 - \alpha) \log_2(1 - \alpha) + \alpha \log_2 \alpha] + n\epsilon \\ \begin{cases} S(\mathbf{x}) \log_2 \alpha + [n - S(\mathbf{x})] \log_2(1 - \alpha) \geq n(1 - \alpha) \log_2(1 - \alpha) + n\alpha \log_2 \alpha - n\epsilon \\ S(\mathbf{x}) \log_2 \alpha + [n - S(\mathbf{x})] \log_2(1 - \alpha) \leq n(1 - \alpha) \log_2(1 - \alpha) + n\alpha \log_2 \alpha + n\epsilon \end{cases} & \\ \downarrow & \\ \begin{cases} S(\mathbf{x}) \log_2(0.2) + 200 \log_2(0.8) - S(\mathbf{x}) \log_2(0.8) \geq 160 \log_2(0.8) + 40 \log_2(0.2) - 2 \\ S(\mathbf{x}) \log_2(0.2) + 200 \log_2(0.8) - S(\mathbf{x}) \log_2(0.8) \leq 160 \log_2(0.8) + 40 \log_2(0.2) + 2 \end{cases} & \\ \downarrow & \\ \begin{cases} -2S(\mathbf{x}) + 200 \log_2(0.2) + 400 \geq 200 \log_2(0.2) + 320 - 2 \\ -2S(\mathbf{x}) + 200 \log_2(0.2) + 400 \leq 200 \log_2(0.2) + 320 + 2 \end{cases} & \\ \downarrow & \\ 39 \leq S(\mathbf{x}) \leq 41 & \end{aligned} \quad (13)$$

令和二年

【問 1】 下図は、定常 2 重マルコフ情報源 S の状態遷移図である。下記の設定に答えよ。



- (1) 上図の状態遷移図を元に、このマルコフ情報源 S の遷移確率行列 A を求めよ。ただし、状態 “00”, “10”, “01” の順に、行を記せ。
- (2) 時点 0 で状態 “00” にいたとして、時点 2 で状態 “10” にいる確率はいくらか答えよ。
- (3) 上記のマルコフ情報源 S の定常分布 $\vec{w} = (w_1, w_2, w_3)$ を求めよ。ただし、 w_i の添え字 $i = 1, 2, 3$ は状態 “00”, “10”, “01” にそれぞれ対応するものとする。
- (4) 定常 2 重マルコフ情報源 X_1, X_2, \dots のエントロピーレート $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{1}{n} H(X_1, X_2, \dots, X_n)$ が $H(X_3|X_1, X_2)$ に一致することを示せ。ただし、 $H(X_3|X_1, X_2)$ は条件付きエントロピーである。
- (5) 上記のマルコフ情報源 S に対するエントロピーレート $H(S)$ を求めよ。

解答

(1)

$$A = \begin{bmatrix} \frac{3}{4} & 0 & \frac{1}{4} \\ \frac{1}{2} & 0 & \frac{1}{2} \\ 0 & 1 & 0 \end{bmatrix} \quad (14)$$

(2)

$$A^2 = \begin{bmatrix} \frac{9}{16} & \frac{1}{4} & \frac{3}{16} \\ \frac{3}{8} & \frac{1}{2} & \frac{1}{8} \\ \frac{1}{2} & 0 & \frac{1}{2} \end{bmatrix} \Rightarrow P = \frac{1}{4} \quad (15)$$

(3)

$$\begin{cases} w_1 + w_2 + w_3 = 1 \\ \vec{w}A = \vec{w} \end{cases} \Rightarrow \vec{w} = \left(\frac{1}{2}, \frac{1}{4}, \frac{1}{4} \right) \quad (16)$$

(4)

$$\begin{aligned}
\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{1}{n} H(X_1, X_2, \dots, X_n) &= \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{1}{n} [H(X_1) + H(X_2|X_1) + H(X_3|X_1, X_2) + \dots + H(X_n|X_1, \dots, X_{n-1})] \\
&= \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{1}{n} [H(X_1) + H(X_2|X_1) + H(X_3|X_1, X_2) + \dots + H(X_n|X_{n-2}, X_{n-1})] \\
&= \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{1}{n} [H(X_3|X_1, X_2) + \dots + H(X_n|X_{n-2}, X_{n-1})] \\
&= \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{n-2}{n} H(X_3|X_1, X_2) \\
&= H(X_3|X_1, X_2)
\end{aligned} \tag{17}$$

(5)

$$H(S) = w_1 \mathcal{H}\left(\frac{1}{4}\right) + w_2 \mathcal{H}\left(\frac{1}{2}\right) + w_3 \mathcal{H}(1) = \frac{5}{4} - \frac{3}{8} \log_2 3 \tag{18}$$

【問 2】 X, Y を $\{0, 1\}$ に値をとる確率変数とする。パラメータ $\alpha, \beta, \gamma \in [0, 1]$ に対し、

$$\begin{aligned}
P(X = 0) &= \alpha, & P(X = 1) &= 1 - \alpha, \\
P(Y = 0|X = 0) &= \beta, & P(Y = 1|X = 0) &= 1 - \beta, \\
P(Y = 0|X = 1) &= \gamma, & P(Y = 1|X = 1) &= 1 - \gamma,
\end{aligned}$$

とする。2値エントロピー関数を

$$h(p) = \begin{cases} -p \log p - (1-p) \log(1-p), & \text{for } 0 < p < 1, \\ 0, & \text{for } p = 0, 1 \end{cases}$$

とする。以下の問いに答えよ。

- (1) 条件付きエントロピー $H(Y|X)$ を 2値エントロピー関数を用いて表現せよ。
- (2) $\beta = 1 - \gamma$ とする。このとき、相互情報量 $I(X; Y)$ を最大化する α を求めよ。また $I(X; Y)$ の最大値を 2値エントロピー関数と α, β を用いて表現せよ。
- (3) α, β をある値に固定する。ただし、 $0 < \alpha < 1$ とする。相互情報量 $I(X; Y)$ を最小化する γ の値を α, β を用いて表せ。また、その最小値を示せ。
- (4) α, β をある値に固定する。ただし、 $0 < \alpha < 1, \beta > \frac{1}{2}$ とする。相互情報量 $I(X; Y)$ を最大化する γ の値を求めよ。

解答

(1)

$$H(Y|X) = \alpha h(\beta) + (1 - \alpha) h(\gamma) \tag{19}$$

(2)

$$\begin{aligned}
\alpha &= \frac{1}{2} \\
\max_{\alpha} I(X; Y) &= 1 - h(\beta)
\end{aligned} \tag{20}$$

(3)

$$\begin{aligned}
\gamma &= \beta \\
\min_{\gamma} I(X; Y) &= 0
\end{aligned} \tag{21}$$

(4)

$$\begin{aligned}
I(X;Y) &= H(Y) - H(Y|X) = h(\alpha\beta + (1-\alpha)\gamma) - \alpha h(\beta) - (1-\alpha)h(\gamma) \\
f(\gamma) &= h(\alpha\beta + (1-\alpha)\gamma) - (1-\alpha)h(\gamma) \text{の最大値問題を解くことになる} \\
\gamma &= 0
\end{aligned}
\tag{22}$$

令和元年

【問1】情報源アルファベットが $\mathcal{X} = \{a, b, c, d\}$ の離散無記憶情報源があり、記号 $x \in \mathcal{X}$ の出現確率 $p(x)$ が以下の表で与えられている。ただし $0 < \alpha \leq \frac{1}{2}$ とする。

x	a	b	c	d
$p(x)$	$\frac{\alpha}{2}$	$\frac{1-\alpha}{2}$	$\frac{1}{4}$	$\frac{1}{4}$

以下の問いに答えよ。

- (1) この情報源のエントロピーを α の関数として求めよ。
- (2) $0 < \alpha < \frac{1}{4}$ のときのこの情報源に対する2元ハフマン符号を1つ求めよ。
- (3) (2) の符号の平均符号長（符号長の期待値）を α の関数として求めよ。
- (4) $\frac{1}{4} \leq \alpha \leq \frac{1}{2}$ のときのこの情報源に対する2元ハフマン符号の平均符号長を求めよ。
- (5) この情報源に対する2元ハフマン符号の平均符号長を $L(\alpha)$ とおく。 $\alpha \in (0, \frac{1}{2}]$ に対する $L(\alpha)$ のグラフをかけ。

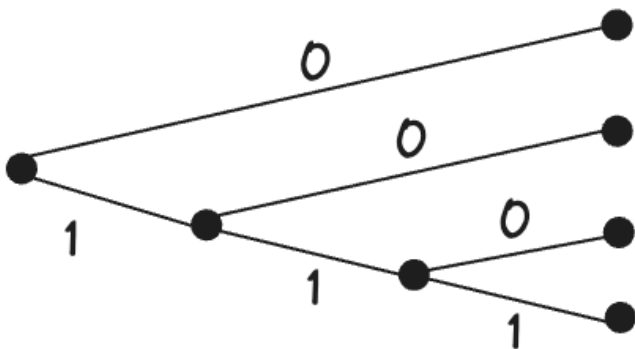
解答

(1)

$$H(S) = 1 - \frac{\alpha}{2} \log_2 \frac{\alpha}{2} - \frac{1-\alpha}{2} \log_2 \frac{1-\alpha}{2} \tag{23}$$

(2)

$$0 < \frac{\alpha}{2} < \frac{1}{4} \quad \frac{3}{8} < \frac{1-\alpha}{2} < \frac{1}{2} \tag{24}$$



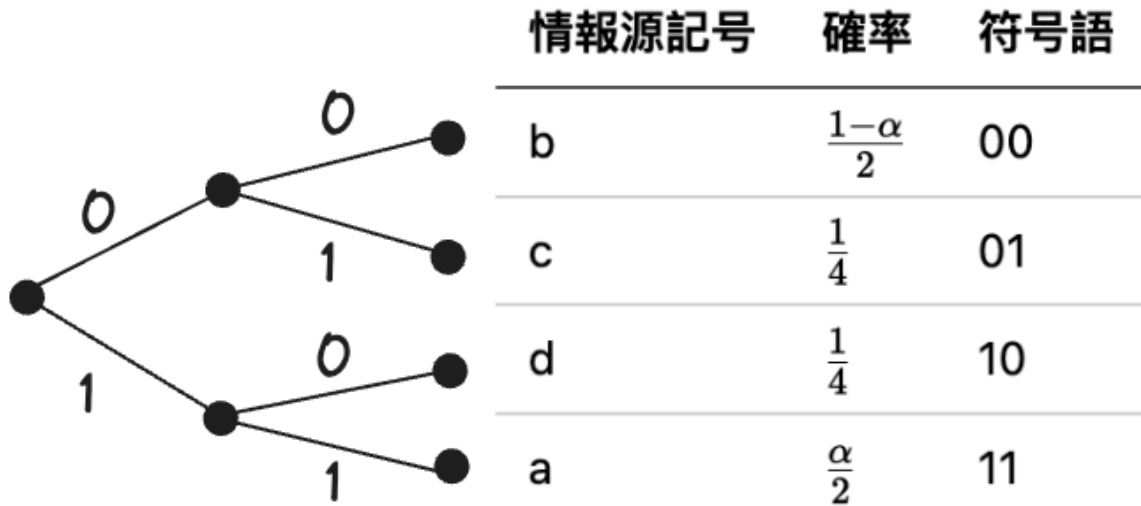
情報源記号	確率	符号語
b	$\frac{1-\alpha}{2}$	0
c	$\frac{1}{4}$	10
d	$\frac{1}{4}$	110
a	$\frac{\alpha}{2}$	111

(3)

$$\bar{L} = \frac{1-\alpha}{2} + \frac{1}{4} \cdot 2 + \left(\frac{1}{4} + \frac{\alpha}{2}\right) \cdot 3 = \frac{7}{4} - \frac{\alpha}{3} \text{ (ビット)} \quad (25)$$

(4)

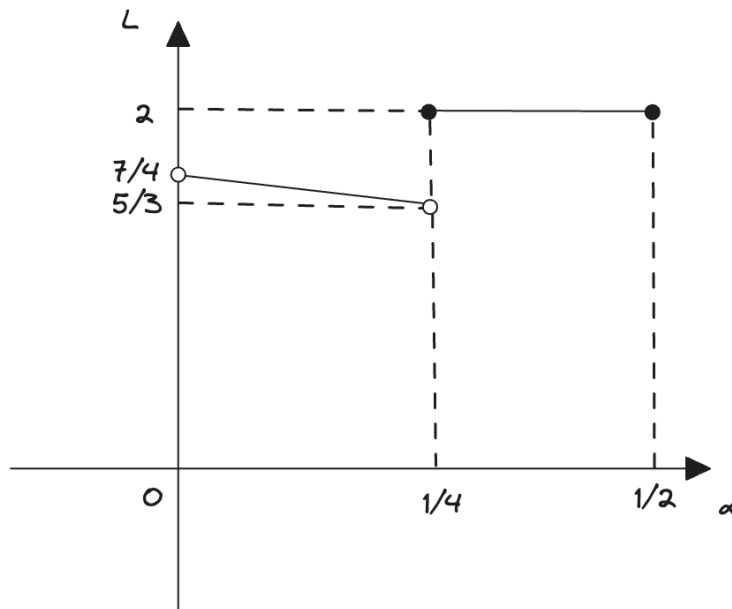
$$\frac{1}{8} \leq \frac{\alpha}{2} \leq \frac{1}{4} \quad \frac{1}{4} \leq \frac{1-\alpha}{2} \leq \frac{3}{8} \quad (26)$$



$$\bar{L} = 2 \text{ (ビット)} \quad (27)$$

(5)

$$L(\alpha) = \begin{cases} \frac{7}{4} - \frac{\alpha}{3} & 0 < \alpha < \frac{1}{4} \\ 2 & \frac{1}{4} \leq \alpha \leq \frac{1}{2} \end{cases} \quad (28)$$



【問2】 アルファベット $\{1, 2, 3\}$ 上の Markov 情報源 $X_1 X_2 \dots$ の遷移確率行列が

$$P = (p_{ij}) = \begin{pmatrix} 0.25 & 0.25 & 0.5 \\ 0.4 & 0.6 & 0 \\ 0 & 0.2 & 0.8 \end{pmatrix}$$

で与えられているとき、次の各問に答えよ。ただし、 p_{ij} は $X_t = i$ のもとで $X_{t+1} = j$ となる条件付き確率を表す。

- (1) P の固有値の一つが 1 であることを示せ。
- (2) 行ベクトル v が固有値 1 に対応する P の左固有ベクトルであり、その要素の総和が 1 であるとする。 v の持つ意味を述べよ。ただし、固有値 λ に対応する P の左固有ベクトルとは、 $vP = \lambda v$ を満たすゼロでない行ベクトル v のことである。
- (3) 固有値 1 に対応する P の右固有ベクトルを求めよ。ただし、固有値 λ に対応する P の右固有ベクトルとは、 $Pu = \lambda u$ を満たすゼロでない列ベクトル u のことである。
- (4) 任意のベクトル v について、 $\|v\|_1$ でその要素の絶対値の総和を表す。行ベクトル v について、 $\|vP\|_1 \leq \|v\|_1$ を示せ。
- (5) P の任意の固有値の絶対値は 1 以下であることを示せ。

解答

(1)

$$|T| = |\lambda E - P| = \begin{vmatrix} \lambda - 0.25 & -0.25 & -0.5 \\ -0.4 & \lambda - 0.6 & 0 \\ 0 & -0.2 & \lambda - 0.8 \end{vmatrix} \quad (29)$$

$$\lambda = 1 \text{ とすると, } |T| = \begin{vmatrix} 0.75 & -0.25 & -0.5 \\ -0.4 & 0.4 & 0 \\ 0 & -0.2 & 0.2 \end{vmatrix} = 0$$

(2)

$$v \text{ はマルコフ情報源の定常分布} \quad (30)$$

(3)

$$Tu = 0 \Rightarrow u = \begin{bmatrix} 1 \\ 1 \\ 1 \end{bmatrix} \quad (31)$$

(4)

$$\begin{aligned} \|vP\|_1 &= |v_1 p_{11} + v_2 p_{21} + v_3 p_{31}| + |v_1 p_{12} + v_2 p_{22} + v_3 p_{32}| + |v_1 p_{13} + v_2 p_{23} + v_3 p_{33}| \\ &\leq (|v_1 p_{11}| + |v_2 p_{21}| + |v_3 p_{31}|) + (|v_1 p_{12}| + |v_2 p_{22}| + |v_3 p_{32}|) + (|v_1 p_{13}| + |v_2 p_{23}| + |v_3 p_{33}|) \\ &= |v_1| \sum_{j=1}^3 p_{1j} + |v_2| \sum_{j=1}^3 p_{2j} + |v_3| \sum_{j=1}^3 p_{3j} \\ &= |v_1| + |v_2| + |v_3| \\ &= \|v\|_1 \end{aligned} \quad (32)$$

(5)

$$\begin{aligned}
\|Pv\|_1 &= |p_{11}v_1 + p_{12}v_1 + p_{13}v_1| + |p_{21}v_2 + p_{22}v_2 + p_{23}v_2| + |p_{31}v_3 + p_{32}v_3 + p_{33}v_3| \\
&\leq (|p_{11}v_1| + |p_{12}v_1| + |p_{13}v_1|) + (|p_{21}v_2| + |p_{22}v_2| + |p_{23}v_2|) + (|p_{31}v_3| + |p_{32}v_3| + |p_{33}v_3|) \\
&= |v_1| \sum_{j=1}^3 p_{1j} + |v_2| \sum_{j=1}^3 p_{2j} + |v_3| \sum_{j=1}^3 p_{3j} \\
&= |v_1| + |v_2| + |v_3| \\
&= \|v\|_1
\end{aligned} \tag{33}$$

$$Pv = \lambda v \text{ とすると, } \|Pv\|_1 = \|\lambda v\|_1 = |\lambda v_1| + |\lambda v_2| + |\lambda v_3| = |\lambda| \cdot \|v\|_1$$

$$\|Pv\|_1 \leq \|v\|_1 \Rightarrow |\lambda| \cdot \|v\|_1 \leq \|v\|_1 \Rightarrow |\lambda| \leq 1$$